

【問10】 問9で「あり」の場合、支出した品目と金額をおしえてください

1	1.マキ炊きかまど・羽釜セット 20,880円（税込） 2.マキ炊きかま 9,690円（税込） 3.寸胴鍋 5,599円（税込）
2	エクセルチェア（階段避難車） 約200,000円× 3 台
3	小型・軽量のハンドメガホン 2台 （機種名 スマイル キッズ SMILE KIDS AHM-102 [ハンドメガホン（拡声器） 緊急時サイレン付き] 合計5,258円
4	訓練用水消火器セット AED訓練キット トイレ模型製作
5	拡声器小型
6	下記のを町内会から防災会に活動費として支出しています。（金額は調べないと分かりませんが） 大型テント2つ 簡易トイレ2つ テーブルと椅子 3セット テント内に敷くマット（約16坪） 炊き出し用のガスコンロ（プロパンガス用）2台 大型アルミ鍋1つ リヤカー1台 町内会に10の班があるので、各班に消火器10本 メガホン10個
7	令和4年度：防災倉庫鍵交換費；46,200円、発電機用ガソリン使用期限経過で購入；6,632円 令和5年度：無事ですタオル、発電機オイル交換、防災トイレ期限経過で購入；24,169円
8	非常用保存水、保存用おにぎり 非常階段降下用器具(スキッド) 約20万円
9	避難所運営用品 ・発電機、飲料水、簡易トイレなど
10	詳細記載する手間を考えて、記載は致しません。代表的なものとしては、 ・簡易無線機 単価 約5万円×30台 ・エアーストレッチャー（牽引型単価）約20万円、イージーレスキュー1台約20万円、 ・防災倉庫追加購入分 約20万円 ・ファーストミッションボックス備品購入費 フロアー×19、本部4 ビブス、文具、工具（ハンマー、バール、ドライバー、ロープ、照明器具）、衛生用品他で、計200万円程度 ・簡易発電機 エネポ約10万円×2台、蓄電器 約80万円他 毎年防災予算として120万円～150万円の承認を受け、実績80万円～100万円を承認を受けて支出しています。また、防災班リーダーにはヘッドランプ1000円を支給しており、各年50名強が選出されることから、5万円程度の出費を続け、リーダー退任後も各家庭の備蓄用品として保管をしていただいております。 今後は、各家庭配布予定の家庭版ファーストミッションボックス製作費として、80万円程度（438世帯＋α）の支出を見込んでおります （安否確認マグネットシート製作費、家庭版ファーストミッションシート製作費、疎開時連絡届出表、それらを納めるマグネット式A4サイズカードケース）
11	荷物整理棚 透明ケース
12	地域避難所として必要な用具を収納する倉庫 金額：14万円
13	えいようかん 約15万円 カロリーメイト 約7,000円 蓄電池 約10万円 太陽光パネル 約25,000円 非常用携帯トイレ 約12万円
14	非常灯 5 台 10,000円

15	＜R3年5月＞ 合計25,157円 ビブス 1 枚、1,958円、USBソケット1個1,280円、USBケーブル2種2,260円、ヘルメット型帽子10枚609円、懐中電灯1個、1,017円、電池613円、カセットコンロガス1,500円、肉じゃが10個3,480円、けんちん汁10個4,480円、豚汁20個7,960円 ＜令和5年1月＞ 合計9,107円 ランタン4個4,312円、アルミ毛布4個1,660円、電池単3 10個1,045円、電池単4 2,090円			
16	毛布、消毒液、マスク、水、懐中電灯、電池、他 約30,000円			
17	消火用スタンドパイプ 1セット	98,000円	同上格納箱 1 個	45,000円
	消費税 1 式	14,300円	合計	157,300円
18	発電機 約50,000円			
19	防犯ベストと赤警棒（いずれも他町会より借りた）			
20	発電機ホンダエネポ2台	20万円	救助工具	6万円
			マンホールトイレ(大小)	10万円
21	消火器とボックス			
22	充電式蓄電器 30,000円			
23	発電機燃料、オイル、4,500	保存水15,000	アルファーマイ5,000	簡易トイレ6,000
24	スタンドパイプ10万円			
25	消火器のBOXの腐食に対して交替 3 ケ 1 ケ6,000円？			
26	○ 物置（防災倉庫）	191,180円		
	○ 移動式小型蓄電池	143,000円	（助成金35,300円利用）	
	○ 投光器	59,400円		
27	乾電池			
28	消化器 4本	34.000円	助成金の対象品目だと気付かなかったのかもしれません	
29	発電機			
30	令和5年度 能登地震を受けて、2月にガソリンの発電機の使用実践したが、3台が稼働できなかった（古いガソリンを除去していないため）ので修理した。2万円 令和5年度 能登地震を受けて、2月に防災備品を点検したが、避難所になった自治会館には携帯トイレがないことが分かったので、800回分を購入整備した。5万円 なお、当防災会は、令和4年度までで、千葉市の助成限度額をオーバーしたので、令和5年度から9年度までは、千葉市の防災資機材の助成対象となっていない。			
31	1. 小型発電機 x 2台、携帯ガソリン缶 x 2、LED照明投光器 x 2台	合計	約20万円	
	2. ヘルメット x 14個（防災役員用）	合計	約4万円	
	3. 飲料水 2 L PETボトル 300本	合計	約5万円	
	4. 簡易トイレセット 270セット（全世帯配布）	合計	約25万円	
32	ガスボンベ発電機 10万円、高輝度懐中電灯 3万円、地震避難セット 2万円			
33	公的避難場所以外の避難場所で避難生活するために必要な物品の購入。 ブルーシート、簡易トイレ、飲料水保存のためのタンク、避難生活に必要な物品、発電機、防災倉庫等、約100万円			
34	テント、発電機、水、非常食、マンホールトイレ等。金額、購入時期不明です。			
35	発電機 = 150,000円	携帯無線機 = 80,000円	ソーラーパネル + 蓄電池 = 150,000円	
36	地域避難所用畳 約35,000円	ボール 3本	22,500円	
37	発電機 180,000円			
38	発電機 25,000円			
39	防災倉庫 356,400円			

40	トイレ TENT 等 757,900円(令和5年度分)
41	町内会として住民から防災対策費として年額1,000円徴収、防災倉庫2棟設置、発電機始め、用品保管。 防災用品購入、保管、賞味期限更新 年間予算は45万円以内、令和5年度は実算10万円、品目は多様
42	消化器(今年度予定)約6万円 リヤカータイヤ交換約3万円
43	ガソリン ガソリン携行缶
44	消火器 15,000円程度
45	簡易トイレ 5台 約10,000円
46	カセットコンロ、炊飯器、拡声器、懐中電灯、いずれも劣化により補充。自治会の防災費から支出
47	発電機 大型テント 防災用毛布 鉄板焼き機 総額323,130円 アルファ米 総額151,899円
48	消火器36,000円
49	発電機、ガスポンペ、投光器
50	ポータブル電源 (1538Wh) : 139,900円 ソーラーパネル (200W) : 49,900円 大容量メガホン (15W) 3台 : 73,500円
51	リヤカー バールなど資材
52	簡易トイレ、保存水、ヘルメット、ランタン、テント等々
53	発電機、無線機、テント、ダンボールベッド、折り畳みマット、ブルーシート、灯油バーナー、石油携 行缶、安否確認タオル、レスキューセットなど 約40万円
54	助成金の申請は、5年に1度で有意義に使わせていただいています。100世帯の組織ですが、年間10万円 の予算で活動している。必要に応じて防災用品を購入している。 購入例 一部補助金を使っています。借地はありません。 発電機 (10万円・15万円 : 2台) ・充電蓄電池 (10~15万円 3台) ・投光器 (20台6万円) ・充 電式投光器 (2台1万円) ・非常食・非常用飲料水 (年間15万円 : 管理組合支払い) ・防災倉庫150万 円 (管理組合支払い) ・その他備品および消耗品 会員から希望をとって、非常用トイレ (100個3,800円) も共同購入している。今年は約25万円分購入し た。
55	充電器、スコープ
56	ブルーシート 10,000円
57	防災関連備品として購入したものを集会所内で保管していたが、運用管理上保管倉庫で管理した方がよ いとの結論になり、急遽保管庫としての倉庫を購入する事になったため、自治会の予算で購入したた め、66,000円
58	ポータブル電源
59	発電機 114,950円 トイレ凝固剤 158,400円 給水袋(5l) 44,000円 救急箱、救急セット 6,681円
60	ブルーシート10枚 15,880円、ブルーシート用マイカ線 7,720円 備蓄用缶パン 48缶 16,330円、備蓄用ビスケット 2缶 29,078円、備蓄用ビスケット 2缶 31,240円 備蓄用クラッカー 2箱 33,960円 保存水2L×6本 9箱 3,285円、保存水2L×6本 9箱 4,160円、保存水2L×6本 9箱 3,406円、保存水2L×6本 9箱 4,455円、アルミ保温シート10枚 7,700円、避難所用毛布10枚 50,160円 救急セット 9,779円、非接触型体温計 4,158円 折 畳み布担架 27,170円、防寒用アルミシート10枚 2,480円